

妻ヶ丘中学校だより

令和7年7月18日（金） 校長 飯干 裕二

高校説明会を実施しました

3年生を対象に、6月27日（金）と7月4日（金）の2回に分けて、高校説明会を実施しました。1回目（6/27実施）は本校体育館で行うことができまし



たが、2回目（7/4実施）につきましては、暑さによる熱中症対策のために、急遽、各教室にてリモートで実施させていただきました。改めて、ご来校いただきました保護者の皆様には感謝申し上げます。さて、この行事の目的は、「上級学校の情報を知り、これからの進路選択に生かす。」ことと「上級学級での学校生活において求められるものを知り、これからの中学校生活での学習や生活の課題を発見する。」ということです。7月下旬には、3年生は全員が対象となる三者相談が実施されますが、その際の良い材料となったことと思います。

県中総体及び県吹奏楽コンクールが行われています

県中総体が7月5日（土）～7月24日（木）まで実施され、県吹奏楽コンクールが7月19日（土）<※代表選考会は7/27実施>に実施されます。既に競技等を終え、次なるステージである九州大会に進出した部活動もあります。本当におめでとうございます。

さて、県中総体に参加した生徒の皆さん、自分の力は出し切れたでしょうか？当然、勝負の世界ですから、勝敗や順位がつくのは仕方ないことですが、それが全てではなく、今まで取り組んできたプロセス（過程）がとても大切です。この経験を通して学んだことを、是非、今後の人生に活かしてください。

薬物乱用防止教室を行いました

7月10日（木）に都城警察署の方をお招きして、薬物乱用防止教室を各教室にて、リモートで実施しました。近年、若年層の薬物使用が大きな社会問題となっています。決して、別世界の問題ではなく身近な問題です。中学生期だけではなく、これから的人生においては、自己防衛意識を高め、自らを律する強い意志が必要ですね。

SOSの出し方教育

本校の重点取組事項の一つとして、「命を大切にする教育の推進」を掲げています。そこで、宮崎県が推進している「いのちの教育週間」(7月第1週)に



合わせて、道徳の時間に、全校一斉(各学級にて)で「SOSの出し方」についての授業を行いました。生徒や保護者の皆様には、機会あるごとにお話をさせていただいておりますが、多様な時代だからこそ、不安や悩みを自分一人では抱え込みます、人に依存していくことが大切です。

地域貢献を行っています

校長として、学校内の業務だけではなく、地域の方々との様々な会合等に参加しております。その際に、地域の方々から、本校の生徒が色々な地域の行事等に積極的に参加し、貢献しているというお話をいただいております。私の知らないところで、そのような活躍をしてくれていることを大変嬉しく思い、さすが妻ヶ丘中生だと誇らしく感じています。

さて、本校は三年前より生徒会執行部が主体となり、この「地域貢献」活動の旗振りを行っています。年々、この活動が深化し、今夏も校区内の六月灯にも多くの生徒がボランティアとして参加し、祭りの運営まで予定されているところもあります。

この「地域貢献」活動は、年間を通して行われます。大切な私たちの故郷です。他人事ではなく、「我が(自分)事」として捉え、機会があれば積極的に参加して欲しいと思います。

1学期の終業にあたり

7月22日(火)をもちまして、第1学期が終了します。まだ、終業の日は迎えてはいませんが、私なりにこの1学期を振り返ると、本当に多忙な毎日で、熟考する間もなく学校経営に取り組んだ状況だったと感じています。対外的な役も数多く担っており、出張等のために学校不在の日が多くあり、土日もほぼ休みがありませんでした。しかし、そんな多忙の中、生徒の皆さんのがむきに頑張る姿や、溢れんばかりの笑顔が何よりも元気の源でした。また異常気象にも悩まされました。約1ヶ月早い梅雨入りに伴う体育大会の態度決定等、それに関連した雷対策、そして梅雨明け後の熱中症対策など、本当に難しい対応が続きましたが、生徒の皆さんに大きな事故等もなく、無事に終業の日を迎えることが一番の喜びです。いよいよ夏休みに入りますが、引き続き熱中症と水難事故等に留意しながら生活を送り、始業の日(8/26)には元気な姿をみせてくれることを願っています。